

# 平成27年度 キャリア教育推進地域事業推進校

研究テーマ

学校名：須崎市立多ノ郷小学校

自分や友だちを大切にし、夢に向かって努力する児童の育成  
～言語能力を高める指導をめざして～

## 1. 取組内容

- ①中学校キャリア教育との系統性と各教科・領域、教育活動のつながりに一貫性を持たせた全体計画・指導計画の進捗、進行管理、見直しを行う。
- ②校内研修の充実を図る。→全校研3本、ブロック研（他の教職員）
- ③これまでの実践の継続（6年「トライ活動」、5年「わくわくチャレンジ、体験合宿」4年「農園体験」2・3年「地域めぐり」全校「わくわくDAY」「社会科見学」など）

### (1) 各学年の体験活動



野菜を育てよう

#### 1年生

〔野菜を育てよう〕（1学期に実施）  
トマトの苗を植え、お世話をしていた。  
個人では、アサガオの栽培を行った。

#### 2年生

〔校区めぐり〕（10月に実施予定）

地域にあるお店に協力をお願いし、グループに分かれて各店舗にインタビューをしに行く。質問内容は事前に考えておき、仕事の内容や嬉しいこと大変なこと等をインタビューする活動を通して、様々な人とコミュニケーションをとる力を育てていくとともに、グループで協力し、関わり合う力をつけていく。実際にインタビューをすることで、お店で働く人への理解や地域への親しみを持ち、仕事に対する興味・関心を育てていきたい。



校区めぐり（H26年度）

#### 3年生

〔町たんけん〕（7月に実施）

自分達が住んでいる町を見つめ直すことを目的に、地域にある工場や商店を見学しに行った。  
〔スーパーマーケット見学〕

（10月に実施）

地域のスーパーマーケット（ピア）に行き、店の人の話を聞いたり、そこで働いている人やお客さんにインタビューしたりした。



町たんけん

## 4年生

### 〔茶摘み体験〕（4月に実施）

地域にある茶畑で茶摘みの体験をした。摘み取った茶葉はJAで加工してもらい、その後、栄養教諭より「お茶を味わおう」というテーマで、お茶の種類・入れ方、効能を学んだ。お茶ができるまでの工程を学ぶことで、発酵の仕方により味や色や香りに違いが出てくることを学ぶことができた。お茶の効能を知ること、改めてお茶のよさを感じる事ができた。



茶摘み体験



門松づくり (H26年度)

## 5年生

### 〔稲を育てよう〕（1学期に実施）

JAからバケツ稲セットをもらい、地域の方から土をいただき、稲を育てる活動を行った。もみから観察し、発芽、苗作りを体験し、3本苗、5本苗、7本苗でバケツに植え、その成長を観察した。社会科の「食料生産を支える人々（米づくりのさかんな地域）」とリンクさせ、稲づくりに対する個別の課題を設定し、学習に取り組み、まとめた。

### 〔門松づくり〕（12月に実施予定）

昔から伝わる門松について、自分達で調べたことをもとに地域の方から由来や作り方を学んでいく。地域の方に教えてもらいながら実際に門松を作製し、日頃お世話になっている地域の施設にメッセージを添えて届ける予定である。この活動を通して、地域の一員として意欲的にコミュニケーションをとりながら活動する力を伸ばし、自分の役割を果たしながら仲間のよさを認め協力することの大切さを感じられるようにする。

## 6年生

### 〔トライ活動〕（1年を通して実施）

「人や自然に対する思いやりや地域を大切にする心を育てる」「よりよく生きていこうとする態度を育てる」等のねらいのもと、月に1回取り組んでいる。

子ども達が地域に出向き、アルミ缶回収を行う。その中で、挨拶・態度・言葉遣いも学んでいる。



トライ活動

### (2) キャリア教育視点での授業改善

## 1年生

### 〔算数〕

・たし算の学習の導入では、本物の果物を使って「合わせる」という感覚をつかめるようにし、数を数えて計算の確認ができるようにした。

### 〔生活科〕

・畑で作った野菜を使って、料理を作った。

⇒具体物を使うことで、学習内容と普段の生活とを結びつけるようにした。また、体験活動で

った野菜で調理をすることにより、生きる力を育てている。

## 2年生

〔国語〕

- ・「たんぼぼ」の教材で学んだことをもとに、実際にタンポポをとってきて花の数を数えてみたり、高知県のたんぼぼ調査の資料を示し、地域の取り組みを紹介した。
- ・「かんさつしたことを書こう」では、自分たちが育てているミニトマトの観察カードを書くようにした。
- ・「まよい犬をさがそう」では、須崎市のキャラクターを使って、メモを書く練習をした。

〔算数〕

- ・「長さのたんい」では、竹ざしを使って、身の回りにあるものの長さをはかる活動を行い、長さの量感を育てていった。
- ・「3けたの数」を学びながら、集金の中身を子ども自身が確認する時間をとることで、数の概念を定着させていった。
- ・「水のかさのたんい」では、実際に水を量る操作をすることで、量感を育てるとともに単位変換を学んでいった。

〔生活科〕

- ・ミニトマトの鉢を目の前に持ってきて観察することで、椅子の上に立ちながら長さを測ったり、葉や花を目線の高さで見たりすることができ、実感をともなった感想を書くことができた。
- ⇒学習したことを子ども達が実感できるものに置き換えていくことで、学習の基礎を定着させていく。

## 3年生

〔すべての授業を通して行っている活動〕

- ・ペア推薦…ペアで考えを交流した後、相手の良かった所を見つけ、全体に推薦する。
- ・「聴く」…目と耳と心で相手の話を聴く。

⇒これらの活動を行うことで、子ども同士のかかわる力をのばしていくことをねらいとしている。

## 4年生

〔平和集会〕

- ・平和についての呼びかけや歌、リコーダーに取り組み、全校の前で堂々と発表できるように練習した。

〔新聞作成〕

- ・班ごとに新聞記事の内容を相談して、協力して調べることができた。

⇒集会の練習やグループ活動を通して、人間関係形成・社会形成能力を高めていけるように、声かけ等を工夫している。

## 5年生

〔算数〕

- ・1 m<sup>3</sup>の枠に「何人入れるか」、実際に児童が入ることで1 m<sup>3</sup>の大きさを体験した。

〔国語〕

- ・「活動報告書」を書く時に、自分達の委員会を振り返り話し合いをし、まとめた。

⇒実際に体験すること、日常の活動と学習を結び付けることを大切にしながら、授業を行っている。

## 6年生

〔家庭科〕

- ・授業の中で学習した快適な夏の暮らしを、夏休みの間に実践するようにした。

⇒社会に出た後の生活を意識して、学習したことを実践していくよう声かけをしている。

## 2. 成果

### (1) 到達目標及び評価指標

学年	到達目標
低・中学年	・自己および他者への積極的なかわり、関心の形成と発展
中・高学年	・身のまわりの仕事や環境への関心・意欲の向上 ・夢や希望、憧れる自己イメージの獲得
全学年	・勤労を重んじ目標に向かって努力する態度の育成

評価指標	目標	結果
キャリア教育 ふりかえりシート	肯定的な評価を 80%に近づける。	各ブロックとも、すべての項目で80% を超えている。
Q-Uアンケート	満足群の児童を 90%に近づける。	2年生以上、1学期の結果 満足群…56%

[児童のコメントより]

#### 1年生

- ・〇〇くんがいっしょに草をぬいてくれたので、大きな草もぬけた。
- ・汗びっしょりになったけど、畑がきれいになってうれしい。
- ・大きなトマトが、できますように。
- ・いっぱいトマトがどれたら、ピザトーストが作れる。

#### 2年生

- ・1年生と手をつなげてうれしかった。1年生に説明するとき、わたしははずかしかったけど、言えた。
- ・1年生といっしょに、いろいろな教室に行ったり、本を1年生によんであげることが、いちばん楽しかった。

#### 3年生

- ・町たんけんをして、この町が今までよりずっと好きになりました。
- ・今まで知らなかった店や建物があって、もっと色々知りたくなりました。

#### 4年生

- ・今日の自転車安全教室は、(中略)信号も、赤の時にいったら事故に合うので、青になったら出なきゃいけないので、とてもためになりました。
- ・最初は、葉がちがうと思ったけど、発酵することで、味や色や香りがちがうことが分かってよかったです。

#### 5年生

- ・わたしが係会活動で成長したことは、大きな声で呼びに行けたことです。いつもの授業中の発表の時は声が小さくなるけど、大きな声で呼べました。
- ・6年生は仕事が多かったけど全てのことをできていたので、ぼくもこんな6年生になりたいと思いました。

#### 6年生

- ・いつも地域の人たちの「おつかれさま」「ありがとう」という言葉にすくわれて、元気が出ます。
- ・今日は、いつもより缶やプルタブの量が少なく、秋だから飲む量が夏に比べて少ないんだと、変化を感じ取ることができてよかったです。

(2) キャリア教育振り返りシート（肯定的評価の比較、数値はすべて%）

No	質問内容（低学年）	質問内容（高学年）
1	友だちの話をしっかり聞きましたか。	友だちが分かるように、自分の考えや気持ちを伝えることができましたか。
2	自分の考えを伝えることができましたか。	自分から役割や仕事を見つけたり分担したりしながら、友だちと力を合わせて行動できましたか。
3	友だちと力を合わせて行動できましたか。	どんな時でも、自分がすべきこと（目標やめあて）には取り組むことができましたか。
4	自分がやらなければいけないことはできましたか。	苦手なことでも、自分から進んで取り組みましたか。
5	分からないことは調べたり、聞いたりできましたか。	計画的に進めたり、そのやり方について見直したり、工夫したりすることができましたか。
6	目標に向かって、努力できましたか。	学ぶことや働くことの意味について考えたり、今学校で学んでいることと自分の将来とのつながりを考えたりすることができましたか。

ア) 低学年

No	1A	1B	2A	2B	平均
1	89	98	89	93	92
2	89	90	85	86	88
3	100	92	96	97	96
4	96	98	85	90	92
5	86	98	96	86	92
6	89	97	89	86	90

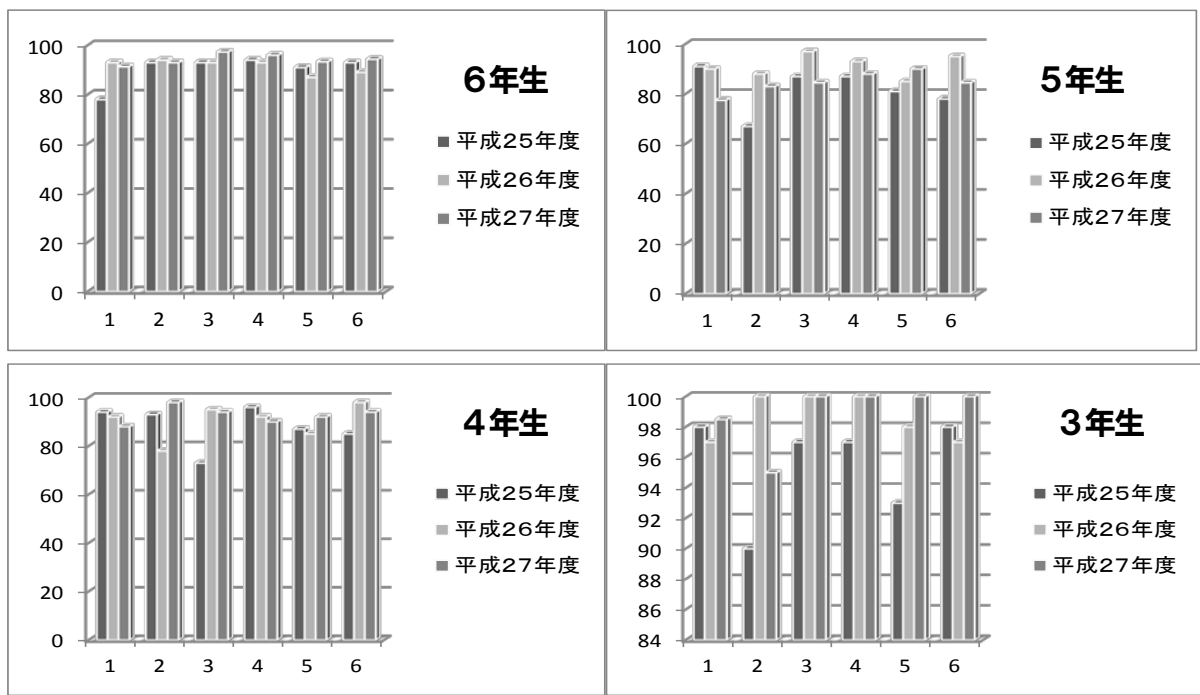
イ) 中学年

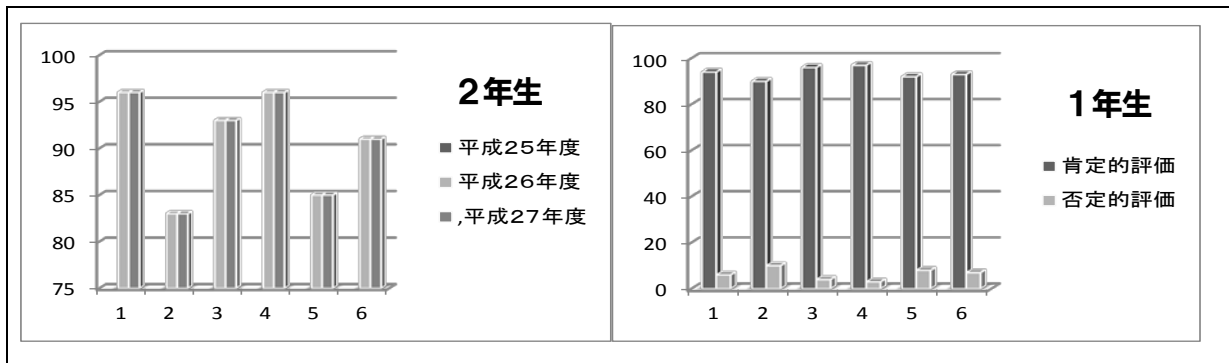
No	3A	3B	4A	4B	平均
1	100	97	92	84	97
2	96	94	100	96	97
3	100	100	100	88	97
4	100	100	96	84	95
5	100	100	100	84	96
6	100	100	92	96	97

ウ) 高学年

No	5A	5B	6A	6B	6C	平均
1	93	62	87	95	92	86
2	90	76	83	100	96	89
3	90	79	100	100	92	92
4	97	79	96	100	92	93
5	97	83	96	100	84	92
6	93	76	91	100	92	90

エ) 3年間の同児童の比較（1年生のみ肯定的評価と否定的評価の比較）





### 3. 課題とその改善策

#### 1年生

- ・1年生の力だけでは畑の準備は充分にできない。  
→今回と同じように、大人の手を借りてやっていきたい。
- ・担任や支援員さんの協力で、うね作りができた。
- ・マルチシートや支柱等、活動を行うために必要な道具が学校にない。  
→購入する等、予算をつけてもらいたい。

#### 2年生

- ・教科書で学習したことを実生活に広げていくことが、時間的に難しかった。  
→学習内容を計画的に進めて、時間を確保していく。  
学校だけでなく、家庭にも呼びかけることで、保護者にも協力してもらうようにする。
- ・相手意識をもって伝えることが難しい。  
→2学期に町たんけんを行うので、身近で働く人の様子に興味・関心をもつとともに、相手意識をもって、地域の方とかかわる力を身につけさせていく。

#### 3年生

- ・ペア推薦では、相手のよい所をなかなか見つけるのが難しい児童がいた。  
→“よい所”のポイントを明確に伝え、相手の考えをポイントをおさえて聞けるようにする。

#### 4年生

- ・茶摘みの事前のお世話や事後の製茶の様子を見ることができない。  
→事前・事後のお世話をしたい。
- ・全体的に、課題対応能力の乏しい児童が多く見られる。  
→分からないことがあるときに、自分から進んで情報を収集し、自ら問題の解決ができる場を全教科において設定するように心がけたい。

#### 5年生

- ・昨年度から、実際に田を提供してくださる地域の人材が確保できなくなり、JAにも依頼したが、組織改革のために田を提供してもらえず、実際の田植え、稲刈りが体験できない。  
→実際に体験可能な、米とは別の地域特産の農作物に変えて協力してくれる方を探す。
- ・現在は、基礎的・汎用的能力の向上が見られるまでには至っていない実態がある。  
→2学期は、活動計画の取り組みを改善し、キャリア教育の視点を指導者と児童が明確にして活動し、能力の向上に努めると共に、実践できる力にしていきたい。

#### 6年生

- ・活動班のみんなで「協力して」回収するという点に課題がある。
- ・地域と共に活動しているという意識がうすい児童が若干見られる。  
→協力店とつながるように、感謝状や年賀状などの作成に取り組み意識を高める。
- ・意思表示をはっきりとせず、投げかけに対する受けこたえや返事も十分とは言えない。  
→色々な場面で意思表示をうながし、自然にできるようにする。
- ・目標や目的をもって、学校生活を送っている児童が少ない。  
→各行事等で目標を設定し、達成感を味わわせることで、意欲を高める。
- ・自分の限界を決めしまい、苦手な事やしんどい事を避ける傾向がある。  
→成功体験を繰り返す場を設け、自尊感情を高めていきたい。